

報道機関各位

青森県農林水産部農産園芸課長  
(公 印 省 略)

青森県主要農作物認定品種の指定及び指定の取消しについて

このことについて「青森県主要農作物認定品種要領」に基づき、下記のとおり認定品種に指定及び取り消したのでお知らせします。

記

1 認定品種に指定及び指定を取り消した品種名等

(1) 認定品種に指定

作物名	品種名	指定の理由
水稻	あおもりっこ (青系211号)	「あおもりっこ」は、地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所が育成した県産米初の米粉向け高アミロース米新品種で、栽培特性に優れ、やや多収であること、米粉に加工したときのデンプン損傷が少ない性質を持ち、米粉麺や米粉パンへの利用に適していることが明らかとなり、試作を行った実需者からも使用したいとの要望があった。 このように、青森県産米の新たな需要拡大が期待されることから、認定品種（作付地域又は用途を限定して県内での作付けを推奨すべき品種）に指定する。

(2) 認定品種の指定取消し

作物名	品種名	認定取消の理由
大豆	シュウリュウ	県内全域での作付拡大の可能性が低いことから、認定品種の指定を取り消す。

2 「あおもりっこ」の品種特性等

裏面「認定品種「あおもりっこ」(米粉向け高アミロース米)の概要」のとおり

3 指定及び指定取消日

令和4年9月26日(月)



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	農林水産部農産園芸課 稲作・畑作振興グループ 総括主幹 成田真樹
電話番号	直通 017-734-9480 内線 5073
報道監	農林水産部 次長(農商工連携推進監) 成田澄人 内線 4967

## 認定品種「あおもりっこ」（米粉用向け高アミロース米）の概要

### 1 品種名

あおもりっこ（系統名：青系211号）

### 2 命名の理由

「青森生まれの米粉用品種で作った米粉麺や米粉パンを食べて健やかに育つ子供達」をイメージして命名

### 3 来歴

#### (1) 交配

平成20年に「東北198号」（後の「さち未来」）を母、「青系157号」を父として交配して育成開始

#### (2) 育成地

地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所

### 4 品種特性

(1) 出穂期・成熟期ともに「まっしぐら」並。

(2) 耐倒伏性は「強」。いもち病抵抗性は、葉いもちが「強」、穂いもちが「不明」で、現在県内に分布するいもち病菌では発病が認められていないが、基本防除は必要。障害型耐冷性は「強」。

(3) 収量性は「まっしぐら」よりやや多収。

(4) 白米アミロース含有率は27%程度で「まっしぐら」より高い。

(5) 米粉にしたときのデンプン損傷度が低く、製麺・製パン適性は良好。

### 5 米粉麺の加工性

全量「つがるロマン」より「あおもりっこ」を配合した麺の方が機械への付着が少なく製品化率が高い。

### 6 米粉パンの加工性

「まっしぐら」より「あおもりっこ」を使用したグルテンフリーパンの方が膨らみが良い。

(様式4)



**プレスリリース**  
AITC Press release 2023.2.22

**米粉に向く高アミロース米新品種  
「あおもりっこ」が出願公表**

**～青森県初の米粉用品種～**

**農林総合研究所**

# 地方独立行政法人 青森県産業技術センター

## ★組織名称の表記についてのお願い

地方独立行政法人青森県産業技術センターは県庁の組織ではありません。地方独立行政法人青森県産業技術センターの名称を省略して表記する場合は、地方独立行政法人であることが明確に分かるよう、「(地独)青森県産業技術センター」又は、当センターの略称「青森産技」をお使いくださるようお願い申し上げます。

また各研究所の表記につきましても、「県〇〇研究所」ではなく、「(地独)青森県産業技術センター〇〇研究所」、又は「青森産技〇〇研究所」と表記してくださるようお願いいたします。

## 米粉に向く高アミロース米新品種「あおりっこ」が出願公表

令和5年2月21日、青森県産業技術センター農林総合研究所が開発した高アミロース米新品種「あおりっこ」の出願が公表され、官報第922号に告示（農林水産省告示第295号）されました。

「あおりっこ」は、青森県初の米粉用品種で栽培特性や製麺・製パン適性に優れており、高まりを見せている米粉需要を満たすことが期待されます。

令和4年9月に県の認定品種に指定され、同年10月18日に品種登録を出願し、令和5年2月21日に出版が公表されました。

「あおりっこ」という品種名は、「青森生まれの米粉用品種で作った米粉麺や米粉パンを食べて健やかに育つ子供達」をイメージして命名しました。

種子は令和6年度作付け分から農協、集荷団体等で販売されますが、令和5年度に試作するための種子については、農林総合研究所までお問い合わせください。

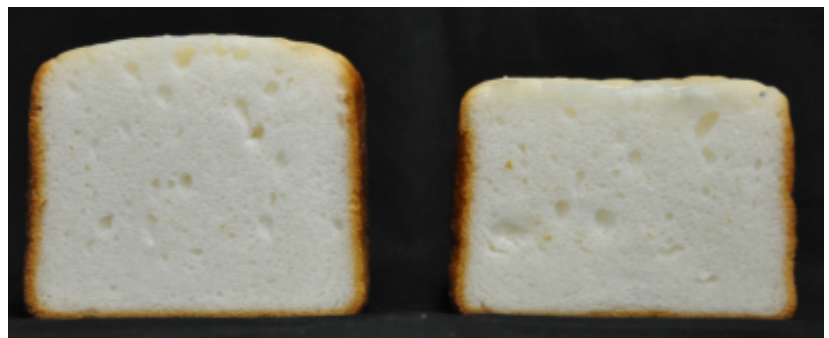
炊飯米の食味は劣り、主食用には向かないことから、製粉業者等の販売先の確保が必要です。

### 1. 主な品種特性

- (1) 出穂期・成熟期ともに「まっしぐら」並。稈長はやや長く、穂数はやや少ない。
- (2) 収量性は「まっしぐら」よりやや多収。
- (3) 耐倒伏性は「強」。いもち病抵抗性は、葉いもちが「強」、穂いもちが「不明」で、現在県内に分布するいもち病菌では発病が認められていないが、基本防除は必要。障害型耐冷性は「強」。
- (4) 白米アミロース含有率は27%程度と高く、玄米品質は劣る。米粉にしたときのデンプン損傷度は低く、製麺・製パン適性は良好である。



試作した米粉麺



試作したグルテンフリー米粉パン

左：「あおりっこ」 右：「まっしぐら」

## 2. 育成経過

- (1) 平成20年に「東北198号」(後の「さち未来」)を母、「青系157号」を父として交配し、育成開始。
- (2) 平成29年から「青系211号」の系統番号を付し、所内での栽培試験を開始。令和元年からは現地栽培試験を開始。
- (3) 令和4年9月に県の認定品種に指定。
- (4) 令和4年10月18日品種登録出願(出願番号第36497号)、令和5年2月21日出願公表。

## 3. 特性一覧

項目	あおりっこ	まっしぐら
出穂期	8月1日	8月1日
成熟期	9月12日	9月12日
耐倒伏性	強	強
障害型耐冷性	強	やや強
いもち病抵抗性		
葉いもち	強	強
穂いもち	不明	やや強
稈長(cm)	76	74
穂数(本/m <sup>2</sup> )	384	422
玄米収量(kg/a)	63.4	60.7
同対標準比(%)	104	100
玄米品質(1良~9悪)	6.7	4.6
検査等級	3等の中	1等の下
白米アミロース含有率(%)	26.6	17.7
米粉デンプン損傷度(%)	0.56	0.94
食味(上上~下下)	下下	上中

(注) 平成26~令和3年、農総研(黒石市)標肥区の結果。

## 取材依頼先の詳細

### 取材依頼先

青森県産業技術センター  
農林総合研究所 水稻品種開発部

- 住 所：黒石市田中82-9
- 連絡先：Tel 0172-52-4312  
Fax 0172-40-4161
- 担当者：水稻品種開発部 部 長 上村豊和（うえむらとよかず）



農林総合研究所

本部事務局

至弘前市

至弘前駅

弘南鉄道  
弘南線

至新青森駅

至青森IC

至青森空港

浪岡駅

天狗平山

主要地方道大鰐・浪岡線

東北自動車道

りんご研究所

至十和田湖

黒石消防署

黒石IC

至盛岡IC

